

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY DANCE 上西校			公表日		2025年2月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	4	ダンスの時はできるだけ踊りやすいように衝立や物を端に片付け、スペースを取るようになっている。しかし年齢層がたかい金曜日ダンスは中・高校生が多いので改善が必要。 利用児童の年齢が上がってきており、10人以上でダンスを踊るのに必要なスペースが確保できていない。 ・定員に対してスペースが狭く活動しづらい ・活動時には本棚を寄せたり机を閉まったりしている	事業所内の物品の配置など再度チーム内で考案し、児童に提供できるスペースの確保に取り組む。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	他の事業所から兼務にきてもらっている。こちらも他の事業所に兼務することもある。	退職者等もあり、1スタッフに対する児童の割合が多くなっているため活動の実施方法を見直すなどして児童の安全を確保しながらも児童一人一人に対して効果的な支援を行えるよう取り組んでいく。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	分かりやすく遊具の場所など写真で明記している。 トイレ前の段差が危ない。 ・身支度の動線を可視化しているところが工夫している点である				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	日頃から消毒や掃除には丁寧に行っている。月の終わりには遊具も一つ一つ消毒をしている。				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	4	書庫や倉庫はあるが個室で落ち着ける場所はない状況である。 パーティションで区切るしかなく、個別で話せるスペースがない。 ・個別スペースがないため、衝立を使って仕切ったり、車内に移動して話したりしている。	ハードに関しての基本的な構造の変化は望めないため、刺激を遮断する必要がある場合にはパーティションや自動車を活用している。現状の環境をどう使うかチーム内で協議し、トラブルシューティングを繰り返しケースごとの最適解を探していく。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	日々の朝礼や事業所会議でプログラムなどの振り返りをし、他の人の意見を聞きながら目標などを全体で話し合っている。	現状の取り組みを続けながらより構造化された問題解決の方法を行っていく。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3	把握する機会がなかったのでこれから設けて改善につなげていく必要がある。	これまでは周知がされていないから、チーム内で保護者の声をもとにそれらを支援に反映していく。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	事業所会議などや朝礼時などの機会で見聞を伝え、全体で改善につなげるように話し合っている。				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3					
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・職員が持つ専門性を周知するために、研修の機会を設けている。				
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1						
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	1	・職員全体に共有されていないことがあるため、モニタリング等があればすぐに共有の必要がある	支援会議の日程を事前に設定しアセスメント内容の共有や意見交換を行いながら取り組んでいく。				

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・担当職員が考えたことを朝礼で周知し、内容のアドバイスなど共有した上で、職員が付き添う必要がある子供はいるか等の対策を考える、という流れは毎回行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	一年間の目標を掲げ、月ごとの取り組みや手立てに沿って行い、必ず、行った後は振り返りをし、次につなげている 職員ごとに担当プログラムを分けている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	2	・専門支援の共有がされなくなってしまったので、改善が必要である	支援の内容と結果の共有と共に、視点の共有も同時に行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		ダンス講師が指導している、高校生と共同しダンスを通じたイベントを実施した。今後も協力体制を継続し定期的な開催ができるように努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		

関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	今は機会がないので地域や他の子どもたちと活動する機会をもち、社会的に視野を広げていく必要がある。	ダンス講師の先生のコネクションを通じ、高校生と一緒にダンスをするイベントを実施した。今後も継続的に行えるよう、関係が途切れぬように努める。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		事業所スタッフの参加はないため、参加しているスタッフから情報を得るなどして情報の風通しが良くなるよう努める。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		送迎時にインフォーマルな形での実施を行っているが、スタッフ次第な部分がある。保護者会などの開催も検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4		当事業所では実施できていないために、他事業所の開催方法などを聞きながらも実施方法の検討を行っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	全体の通信以外に事業所のイベントなどを独自に発行してお知らせをしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	相手の立場になり、できるだけ分かりやすく、丁寧に伝えることを心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		ダンス講師の紹介で高校生たちとの共同イベントを実施。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	・家族への周知をする必要がある	文書や通信を通じて実施を行う。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	予防接種など事前にはなかなか把握ができない。保護者とのやり取りの中で事前に伝えてもらえるように改善が必要。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		